

令和 7 年 5 月 21 日

苫小牧市長
金 澤 俊 様

一般社団法人 ネットワーク苫小牧
会 長 中 村 こ ず え

令和 7 年度 要望書

平素は当会の活動に対しまして ご配慮ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

例年は年度末に要望書提出をしておりましたが、今回は5月提出とさせていただきます。活動に関しては、今年度も引き続き女性の「自立による地位向上」や「職場や地域への定着による」女性活躍のほか、多面的な角度から「人に優しいまちづくり」にも関与していく事業を展開してまいります。

今年度もまたご支援を宜しくお願い申し上げます。また今回は、記載事項が多くなりましたが、施策に反映していただけますよう重ねてお願い申し上げます。

記

- I. 継続要望 2 項目について
- II. クォータ制及び夫婦別姓について
- III. イクボス宣言について
- IV. 高齢者フリーパス廃止見直しについて
- V. 活動支援について
- VI. 市議会議員代表質問及び答弁作成指示問題について
- VII. 駅前再開発について

以 上

I. 継続要望2項目について

◇ 令和4年度Ⅱ-1-2)・令和5年度Ⅰ-1 要望2

「市の主導による市民への啓蒙活動について」より「もしもシート」普及の件
・昨年度に担当課による出前講座を要請し、会員及び一般市民と共に勉強会を開催し、最後まで自分らしく生き、自ら望むことを残しておく【意識の醸成の必要性】を再認識いたしました。

□ 要望1：この意識の醸成を育むことは、若い世代から必要ですので、学校や企業、各団体等全ての市民を対象とした、より積極的な取り組みを引き続き要望いたします。

◇ 令和5年度Ⅱ 要望5

「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律（女性支援新法）」に関してより
・令和6年4月施行の同新法は、多面的に期待される一方「女性相談支援員」の人的資源確保と民間団体との「協働」について対策を講じる必要があると指摘されております。全国で活動されている支援員が有している資格を、当会々員も有しております。

□ 要望2：当会のような有資格者を有する民間団体の積極的活用を要望いたします。

II. クオータ制及び夫婦別性について

……資料1-1～1-3

* 2024「ジェンダーギャップ指数」日本の順位 / 146カ国の中で118位。

＜G7国最下位。アジア圏では、韓国や中国を下回る順位のジェンダー後進国＞

* 要因 / 経済や政治の分野において男性稼ぎ手社会から脱却ができていない。

・経済分野において管理職や役員への女性登用が少ない。

・政治分野において国政及び地方議会の議員や閣僚の女性割合が少ない。

* 2018.5月交付及び施行 / 「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」

・日本国民の男女比は半々であるにもかかわらず、議会の場に女性の代表者が少なく諸外国と比べて女性の政治参画遅れをとっている。そのため男女共同参画を推進し民主政治の発展を目指すために制定。

＜通称・略称「候補者男女均等法」「日本版パリテ法」など＞

* 当会市民意識調査アンケート及び苫小牧市議会各会派へのアンケート結果より

①女性議員数を「増やす必要がある」との回答が双方とも8割以上に上る。

②女性議員を増やす割合としては、双方とも5割＝半数という回答が一位を示す。

③夫婦別性に関しては、賛成が双方とも5割の回答となっている。

□ 要望3：道内初の「男女平等参画都市宣言」にふさわしく、女性議員数増に向け、会派を超えて実現への先駆的議論を、金澤市長の強いリーダーシップの下で進めていただきたい。合わせて、候補者同数のみならず、クオータ制や夫婦別性に関しても、法制度化へ向けての議論を地方からも高め、政治参画への意識を促すよう積極的な施策と発信を要望いたします。

III. イクボス宣言について

……資料2

女性が結婚後も政治分野を含め働き続けけるためには、家事や育児などへの男性側の理解と協力が必須となります。市は「イクボス宣言」を2015年と2023年に行い、働きやすい職場環境への取り組みを内外に示しております。

□ 要望4：行政発のこの宣言は、民間会社の管理職層への喚起となると同時に働く人全てへの意識変革を促すことに繋がります。「ジェンダー公平」の意識醸成のためにも金澤市長以下による第3回目となる、高らかなる宣言を要望いたします。

IV. 高齢者フリーパス廃止見直しについて

……資料3

本年3月末にて販売終了となった「高齢者フリーパス」に関しての、実態把握アンケート結果（2024.5月）と担当課による今後の事業方針案（2024.10月）を確認いたしました。経費削減のため止むを得ない状況はあるにせよ、廃止の決定前に、利用者の拡大への工夫や自己負担の増額などに関して、丁寧な分析や議論がなされてきたのかと気になります。私たちは人生100年と言われる時代に向かっていますが、病院のベッドで過ごす期間が延びるのか、健康寿命を延ばして過ごせるのかで人生そのものが大きく変わります。『高齢者の敬老パスの維持について考察』を資料として提出いたします。

□ 要望5：利用者拡大への工夫や自己負担増の検討などで、再開できる可能性を探り市内の高齢者の心身の健康を守っていただけるよう再考を要望いたします。

V. 活動支援について

当会は「性差を超えて人権を尊重し認め合い 誰もが個性と能力を発揮できる 社会の実現を目指す」ことを目的として、その目的達成のために「苫小牧市男女平等参画基本計画に関すること」を、定款事業内容の一番目に掲げております。目に見えない『意識』に大きくかわることでもあるため、会員及び市民に向けて、より具体的に意識醸成を促す事業展開をしており、今後も時代に即した事業を推し進めようと考えております。

□ 要望6：補助金の増額又は一般社団法人（非営利型）の法人住民税に対して緩和措置などの検討を要望いたします。

VI. 市議会議員代表質問及び答弁作成指示問題について

市議会議員の講話会や、市議会議員と多様な立場の市民が同じテーブルにつき様々な課題に対して意見交換する「フォーラムwith市議」を開催している団体としてまず、初めに、大変な驚きと残念な思いの時間を過ごしたことをお伝えいたします。

議会、行政双方が「受け取らない」「つくらない」と表明されたので、私たち市民は双方を信じて、今後の市政運営を見守っていくことに尽きます。

□ 要望7：金澤市長は「行政報告で考え方を市民に伝えたい」と話されました。この慣例化していた原因にも言及されることを期待します。また今回は「公益通報」と認識するのか否かについても、考えを示していただきたいと要望いたします。

VII. 駅前再開発について

……資料4-1・4-2

昨年開催した「フォーラムwith市議」は、集まれ！若者/苫小牧の【今】を語ろうと呼びかけ、我らがまち苫小牧について意見交換をしました。若い世代らしいアイデアや意見の中に、駅前再開発に対して【駅前活性化のために広場を】の提案がありました。学生の遊び場確保と同時に「広場として活用することで、1つの分野に拘らずに多様なイベントを開催」そのために【駅前を大広場に】するという考えでした。

今年に入り、日本の高名な建築家安藤忠雄氏が、朝日新聞で取材された記事が話題になりました。

『長く続いた日本経済の不振のなかで、箱モノ行政も目立たなくなったが、いまだに街づくりというと何か華々しいものをつくって人を呼ぶことだというような風潮がある。・略・だが、地方創生に必要なのは奇抜なモニュメントでも立派な施設でもない。市民と地域の結びつきを深めるコミュニティーの強化だ。』<朝日新聞2025.2.23版より>

この安藤氏が政界や大阪経済人を巻き込んで長年取り組んできた、大阪北区梅田周辺の大規模開発（うめきたプロジェクト）「グラングリーン大阪」は、公園エリア「うめきた公園」を有し、その規模は約45,000㎡（東京ドーム約1つ分）という、都市型公園としては世界最大規模の大きさを誇ります。都市計画論の関係者からは非常に評価が高く、特に高いのが、3つのエリアの中の「うめきた公園」で、広大な芝生と噴水広場が広がり、そこで遊ぶ子どもたちの姿を見て「（都市の）再開発はこうあるべきだ」という意見が多く聞かれています。

□ 要望8：駅前再開発の選択肢の中に、時には歩行者天国になり、情報発信地となり得て、季節により変わる多彩なイベントの開催もできて、健常者も障がいを持つ人も、子どもから高齢者まで集まり交流できる「多世代交流型」の駅前【大広場】案を、今なら未だ間に合う検討案の1つとしていただけるよう要望いたします。

アンケート集計結果ー1

資料1-1

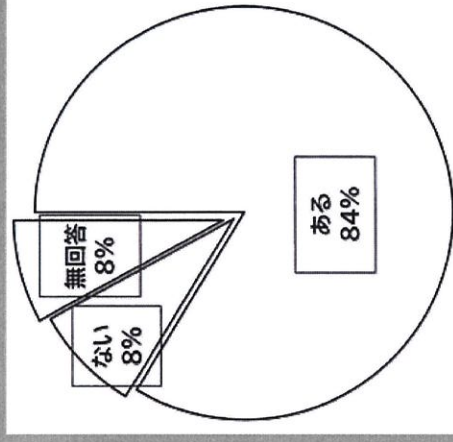
- 女性議員の割合は14.3%ですが増やす必要はありますか？（定数28に対して女性議員4）

共通

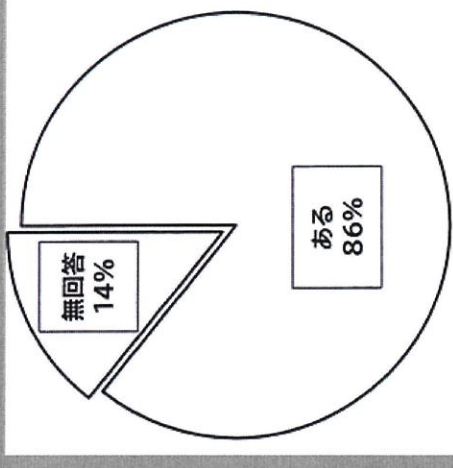
◇会派：市議会7会派回答
(2023.9月)

◆ネットワーク苦小牧
：市民アンケート回答
(2021より計3回)

ネットワーク苦小牧

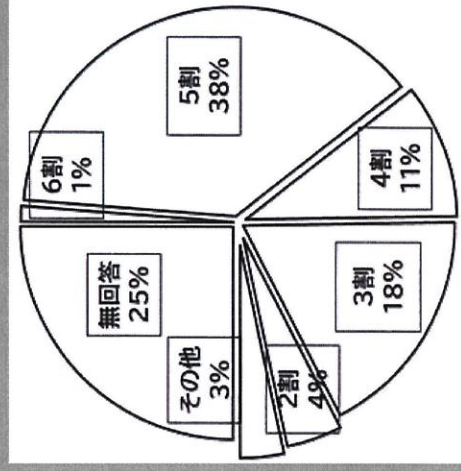


会派

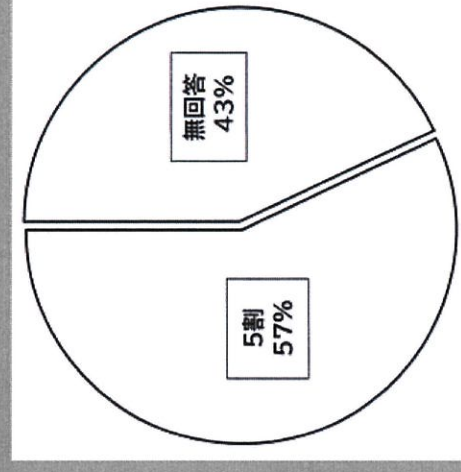


- 望ましい女性議員の割合は？

ネットワーク苦小牧



会派



アンケート集計結果－２

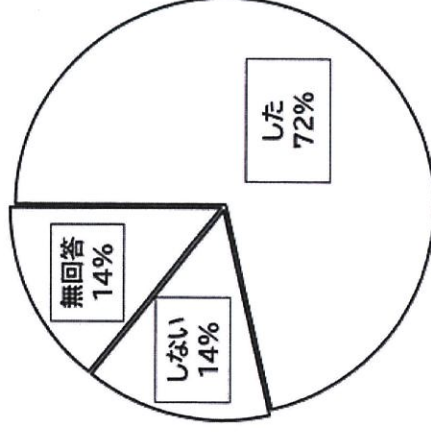
資料1-2

■ 女性議員の擁立について

< 会 派 >

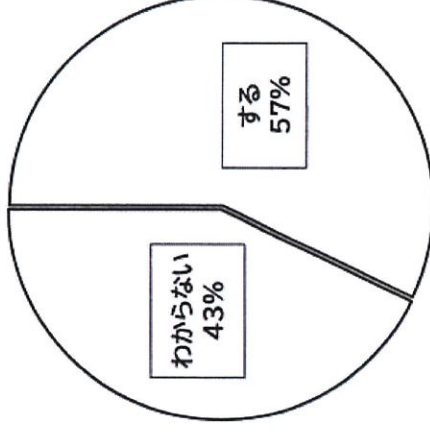
2023年統一地方選挙で

検討しましたか？



2027年次期選挙時、

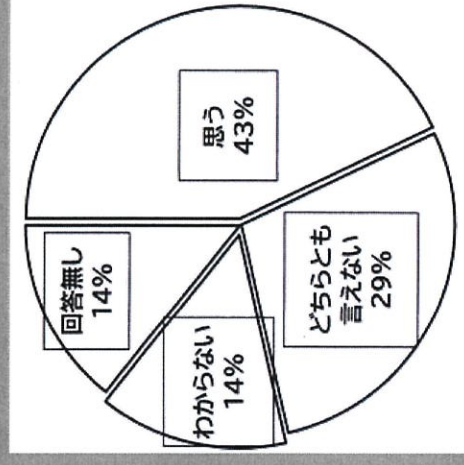
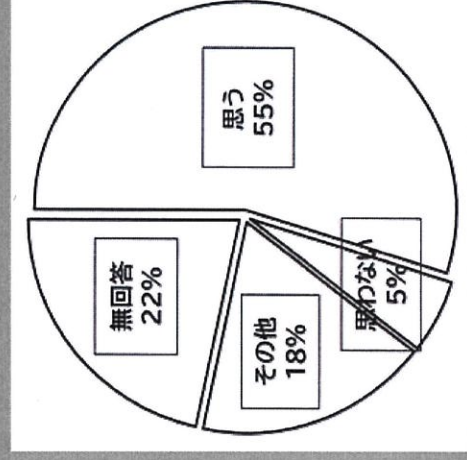
新人女性候補の擁立を検討しますか？



■ 女性議員を増やすためにクオータ制を取り入れると良いと思いますか？

ネットワーク苦小牧

会 派



アンケート集計結果－3

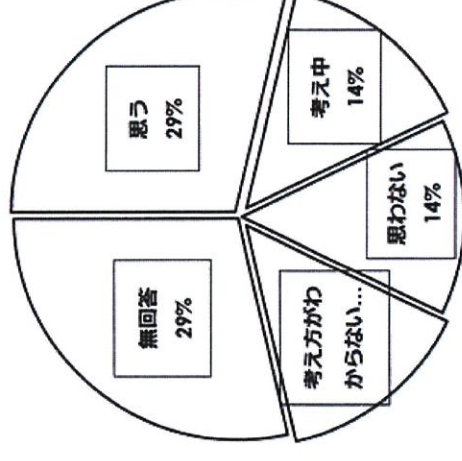
資料1-3

■ 女性議員の割合について

女性議員の割合について、所属会派を超え、市議会でも目標値を定めたら良いと思いますか？

令和5年6月15日開催の自民党改革実行本部総会において女性議員の割合を、今後10年間で30%に達成させることを目標として「女性議員の育成・登用に関する基本計画」が了承されました。

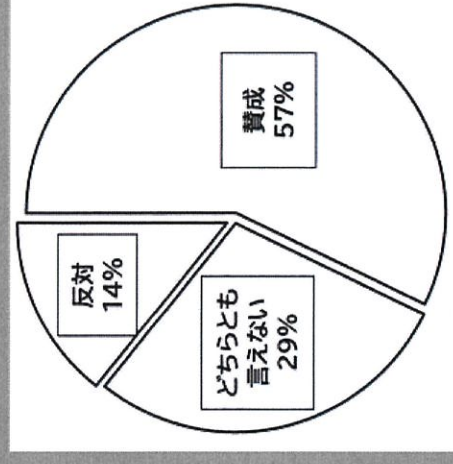
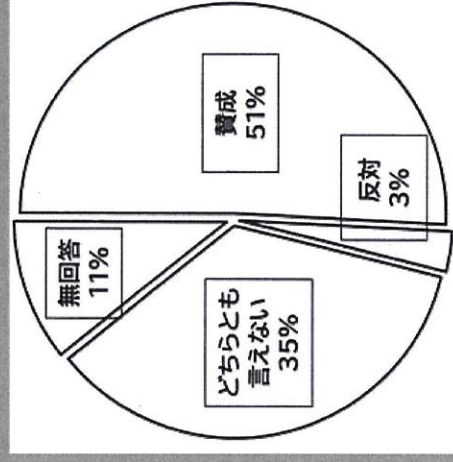
会 派



■ 夫婦別姓について

ネットワーク苦小牧

会 派



【前提として】

苫小牧市の課題として『人口減少』があり、苫小牧市人口ビジョン及び総合戦略においては、基本目標として下記の通り掲げられている

- ・地元企業と学生との“繋がり”を強化し、地元雇用の確保・拡大を実現
- ・子育てしながら仕事を続けられる社会環境の整備
- ・地元の魅力を強化、暮らしやすさ発信で移住を促進
- ・産業競争力を高め、地域ブランド力を向上

【イクボスとは】

部下の育休取得や時短勤務などがあっても、業務を滞りなく進めるために業務効率を上げ、仕事と私生活の両立に配慮し、自らも生活の充実を完遂させる管理職を指す。

また、業務効率の向上、仕事と私生活の両立は育児当事者だけに限ったことではない。全ての部下が働きがいを見出し、かつ生産性を上げていくためにもイクボス的管理者を人材育成のスタンダードとする必要がある。

【イクボスが増えると何が変わるか】

- ・育児や介護など、さまざまな事情を抱えるチームメンバーがそれぞれ持てる能力を最大限発揮できる組織となる
- ・部署のメンバー同士で互いにサポートし合うことで、チームの団結力がアップする。
- ・突然の介護や個人の事情等があっても、支え合う組織風土により離職を防止できる。
- ・相手を理解し互いを思いやる気持ちが醸成されることで、パワハラやセクハラ、妊娠・出産等に関するハラスメントが発生しにくくなる

一見するとイクボスはワークライフバランスや女性活躍推進のためのものに見えるが決してそうではない。

イクボス的管理職が増えることにより、子育てを含め制約がある社員も働き甲斐を持つことができる。その先には暮らし易さの向上、産業競争力の向上がある。つまり、イクボス的管理職が増えることは、苫小牧市人口ビジョン及び総合戦略においての

- ・子育てしながら仕事を続けられる社会環境の整備
- ・地元の魅力を強化、暮らしやすさ発信で移住を促進
- ・産業競争力を高め、地域ブランド力を向上

の3点について効果を発揮する。

【市長への要望として】

1. 市長にイクボス宣言をしていただきたい

イクボス宣言とは、自らがイクボスである、イクボスであろうとしていることを宣言するもの。過去には副市長以下課長補佐級以上がイクボス宣言を行なっている。金澤市長にも是非イクボス宣言をしていただき、苫小牧市がイクボス的管理職を増やすことに積極的に取り組むというアピールをしていただきたい

2. イクボスの普及に関わる施策を

イクボスの普及にあたり、企業からは「あそこは大企業だからできる」「うちは中小企業みたいにフットワーク軽く動けない」と「できない理由」を探す声も耳にしている。

しかし、イクボス的管理職は企業規模に関係はなく、規模に応じた対策がある。

市長とジェンダーミーティングや審議会、官民合同研修等で、イクボス的管理職を発信していただき、民間企業にもイクボスの考え方を広めていただきたい。

一般社団法人ネットワーク苫小牧
高齢者の敬老パスの維持について考察

資料 3

2024 年 12 月 4 日まとめ

【高齢者は加齢に伴い免許返納することになると、交通手段が自家用車からバス・タクシー又は家族（同居・別居）に委ねることになる】

I - 廃止になると

1. 年金生活では、タクシー利用は無論のこと、通常のバス料金では往復料金が 1 食の食事代金に近ければ経費削減のため外出する回数を控えるようになる。
2. 外出を控えるようになると、下記のような弊害が予測される。
 - ① 家に引きこもるようになり、精神・身体ともに活動が低下してくる。
 - ② 活動力が低下すると今までの社会参加活動を継続できなくなる。
 - ③ 社会活動を継続できなくなると、物事に対する意欲や気力が失われていく。

その結果

【生きる目標や楽しみを見い出せず、元気で活力ある高齢者ではなくなる】

そして

- ④ 通院・買い物などは家族の手を借りることになり「家族の負担増」に繋がる。
- ⑤ 家族に頼れなければ社会保障制度などを使うことになり「市の財政負担増」に繋がる。

II - 維持されると

1. 自分の足で歩き、通院・買い物などができると「家族の負担増」を避けることができる。
2. 活動力が高い健康な高齢者が増えると、医療費・介護給付費の削減にもなり「市の財政負担増」を回避することができる・・・この意味合いは大きい。
3. これまでと同じように、日用品はじめ子や孫に物を買う・外食を楽しむ等の消費行動ができる・・・高齢者も一消費者であり、市内の経済循環を支える大きな役割を担う。
4. 自発的且つ前向きに検討できる免許返納の結果、高齢ゆえの危険な交通事故を削減できる。

何よりも

【社会との繋がりに安心感を持ち、日常生活の自立と張り合いを維持できる】

それには政策集の

- ① すべての市民が心身ともに健康で幸せに暮らせる社会の実現
- ② 高齢者が生き生きと働ける社会の実現
- ③ 人生 100 年時代を見据えた社会参画できる健康支援策の実現

この 3 点が大きな軸となる。これは高齢者のみならず全世代・全市民に共通する軸である。

この 3 軸が構築されると

5. 2025 年問題、2040 年問題、2050 年問題と様々な面で自治体も対応を求められることになるが、主役となる団塊世代・団塊ジュニア世代の一般的に言われている行動特性はそれぞれ
 - ・ 流行に対して敏感な世代で購買意欲は高い。
 - ・ 子供への投資は惜しまず、自己啓発などの自分磨きに意識が高い。

この特性から考察される以下に関して、大なる効果を期待できる。

- ① 消費活動や社会参加活動の一員としての認識が高い「高齢者」が増える。
- ② 認識が高い「高齢者」が増えると、交通インフラなどに対しても問題意識を持つ。
- ③ 免許返納後は路線バスを活用する頻度は高くなり、乗車率向上と増収に寄与する。
- ④ 乗車率が向上すると、車を持たない若い世代の移動手段としても生活路線を存続できる。

6. 町中に元気な高齢者の数が増える。その大きな意義として

- ① 常に大人の目があるので、防犯にも役立ち、子育て中の働く世代の安心感にも繋がる。
- ② 子供たちが高齢者と接する機会が日常的に増えることにより、わざわざその為の施設を作らなくても世代間交流や相互理解の機会を得ることができる。このことは、ひいては「人に優しいまちづくり」に繋がる。

Ⅲ－ 敬老バス維持に向けた方策

他都市に於いても、制度の意義を認識しつつも高齢者増による財政負担増により、札幌市のように、見直し等の協議が進められていることは報告書やメディアで知るところである。が、下記の通り、敬老バスは事業目的の通り、高齢者の健康維持に寄与していることが報告されている。

- ・仙台市発表（令和4年）：利用者のうち「外出機会が増えた」とした回答が45.7%となり、敬老バスが高齢者の外出頻度を高める上で重要な役割を果たしていることを示す結果となった。
- ・横浜市発表（令和4年）：利用者は未利用者に比べ「毎日1時間以上の外出有の割合」が約1.2倍であり、外出時間の増加は身体活動量の増加に繋がり、健康維持に大きく貢献している。

出典：超高齢化社会の「イマ」を追う！ニッポンの介護学『社会問題 敬老バス制度の今後』より抜粋

【敬老バスは、高齢者の外出を促進し健康維持に貢献することで、個人の生活の質の向上と社会保障費の適正化という二つの側面から、社会に大きな便益をもたらしていると言える】

苫小牧市に於いても、単に市費負担増により廃止決定するのではなく、負担増を補える創意工夫を、時間をかけて、多角面から検討する余地がないのか、再考を促したいところである。

令和6年10月 苫小牧市福祉部総合福祉課

□苫小牧市高齢者に対する市内路線バス優待乗車証等交付規則の改正（案）資料より

7 今後の事業方針案【方針案選定理由】

（4）約1,800万円の財政効果額が見込まれ、高齢者交通費助成制度を存続できる。

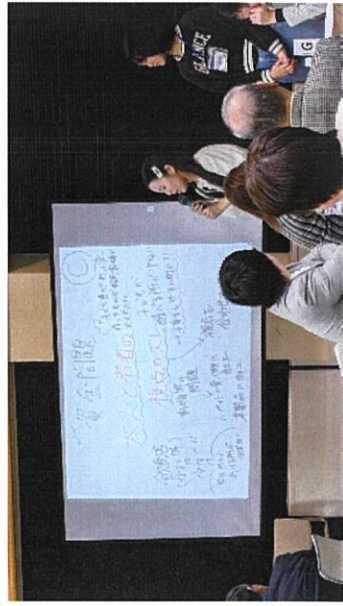
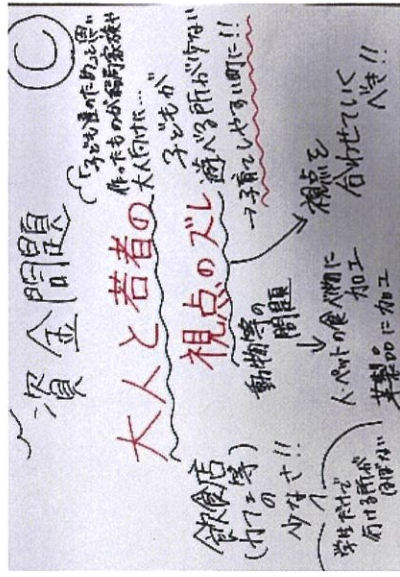
検討1 / 「寝たきり又は要介護の高齢者」と「敬老バスを利用する活動性の高い高齢者」に掛かる費用を将来予測（特に前述Ⅱの高齢世代に注視）して、財政面の再検証をしてみてもどうか。

（3）誰もがバスの利用回数に応じた費用負担となり、助成の公平性が増す。

検討2 / 一読すると「公平性」があるように感じるが「優待乗車証」と「フリーバス」の事業目的そのものに「似て非なる」違いがあるので、担当課は認識を新たにして臨む必要がある。

この「高齢者敬老バス」に関しても、多様な立場の市民の意見に耳を傾け、共通の問題意識を持つ 「市民参加型のまちづくり」の一課題 として、大いに議論を重ねていただきたい。

6. 各グループセッションまとめー発表の様子



Cグループ

(11月16日フォーラムwith市議)

駅前活性化のために広場を

～良好なアクセスと多様なイベント～

駅前を大広場に

- ・ 学生は車がないので駅前のアクセスは重要
- ・ 広場として活用することで、1つの分野に拘らずに多様なイベントを開催

ショッピングは東側が充実している

- ・ イオンがある
- ・ 大人は車があるので駅前ではなくてもよい

➤ 良好なアクセスでの学生の遊び場所確保と、多様なイベントでの市外の外貨獲得を目指す

➤ ネットワークとまごまいを活用して若者の意見を市政にぶつける

・ 幼少の子をもつ親の意見

- 少期の子供が遊べる場所が欲しい。あそびのくにピピとせが良い例が (2021年開店)
- 科学センターが築50年。駅の中の複合施設に持っていきたい

・ 中高生の意見

- メガドンはヤンキーが多いのでどうにかしたい
- パチンコ店が多いのが困る
- 施設が欲しい

・ 大人の意見

- 昔は駅に行けば盛り上がりがあった
- 駅前を残したかったが、駅に頼る街作りは良くないと意見があったため、経済性を考えて商圏自体を変えた経緯がある
- 王子製紙が駅前にあるため、駅前活性化が難しい
- アイスホッケー場があったり、施設は実は多くある
- 造ったものは30-40年で作り替えなければならぬため、簡単には作れない
- 駅前の広場化。何か決めてしまわずに多様なイベントを実施する
- ショッピングは東側で十分である
- 駅を軸に考えすぎず、新しい市民会館の駐車場に停めてランチなどに行くのもよいのでは
- 市議から意見を出すのもよいが、今後何十年も生活していく若者から意見を出した方がよい

資料4-1

Dグループ



